

【緑地を楽しむ本】

『調べてびっくり！テントウムシ』

盛口 満 文・絵

少年写真新聞社



表紙をあけると、いきなりナミテントウの越冬集団の写真。148匹いるその集でおおまかに分けられる4種類の模様、二紋型、四紋型、斑型、紅型の割合を数えてみる。そして「もしもテントウムシの集団を見つけたら、この結果と比べてみましょう」と、見ている

こちらをギュッとリアルな体験へと引っぱってくれるような気にさせてくれる。

ページをめくっていくと、これでもかというほどのテントウムシ、テントウムシ……。同じナミテントウの中にも星の数というか模様のちがうものがこんなにいるのかとビックリ。見開きいっぱいのおおまかに分けられたテントウムシ独特のさまざまな幼虫やサナギの絵も、完全変態ならではの迫力だ。

草食、そして菌食のテントウムシの紹介などもあり、もちろん他の虫も多数登場。

～緑地で探してみましょか～

(遠藤)